

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
【部門区分】第 1 部門第 2 区分  
【発行日】令和 5 年 4 月 10 日(2023.4.10)

【公開番号】特開 2021-52946(P2021-52946A)  
【公開日】令和 3 年 4 月 8 日(2021.4.8)  
【年通号数】公開・登録公報 2021-017  
【出願番号】特願 2019-177583(P2019-177583)  
【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02(2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

A 6 3 F 7/02 3 3 4

【手続補正書】

【提出日】令和 5 年 3 月 31 日(2023.3.31)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

20

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

所定の形状で立体的に膨出している立体部、該立体部の周縁よりも内側の範囲に着色された特定の装飾からなる加飾部、及び該加飾部の周縁と前記立体部の周縁との間の該立体部に設けられている余白部、を有している装飾部材を、具備し、

前記余白部は、透過性を有して形成され、

前記余白部は、前記立体部の膨出方向の高さ寸法より小さな高さの領域を有する

ことを特徴とした遊技機。

【手続補正 2】

30

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0002

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0002】

従来、立体的な形状に形成されている成型部と、成型部に施されている所定の絵柄の装飾層と、を有している装飾部材が搭載された遊技機が提案されている（特許文献 1）。この特許文献 1 の技術では、絵柄における所定のキャラクタの部位を、圧空成型により立体的なレリーフ状に形成することで、絵柄のキャラクタを浮き出させて、装飾部材の装飾効果をより高められるようにしている。

40

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0003

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0003】

【特許文献 1】特開 2017 - 61125 号公報

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

50

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0004】

しかしながら、特許文献1のような技術では、立体的な装飾部材を成型した際に、絵柄における所定のキャラクタの周縁が、立体的な部位（立体部）の周縁よりも外側に位置していると、キャラクタの絵柄が立体部からはみだして見えるため、キャラクタの絵柄と立体部とによる装飾が不自然なものに見えてしまい、遊技興趣を低下させてしまう問題があった。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

10

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

本発明は、遊技興趣の低下を抑制できる遊技機の提供を課題とする。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【0006】

本発明は、

所定の形状で立体的に膨出している立体部、該立体部の周縁よりも内側の範囲に着色された特定の装飾からなる加飾部、及び該加飾部の周縁と前記立体部の周縁との間の該立体部に設けられている余白部、を有している装飾部材を、具備し、

前記余白部は、透過性を有して形成され、

前記余白部は、前記立体部の膨出方向の高さ寸法より小さな高さの領域を有する

ことを特徴とする（例えば、段落2641、段落2642、図262等を参照）。

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

30

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

本発明によれば、遊技興趣の低下を抑制できる。

40

50